

# けいはんな技術交流会

「けいはんな技術交流会」では、けいはんな地域に立地する大学・企業研究所が持っている技術シーズや実用化にまで至っていない研究技術の芽を“府内中小企業の事業発展”として育てるため、大学・企業研究所と京都企業の技術者が相互交流を通じ、人的ネットワークの輪を広げ、ニーズとシーズのマッチングを図っています。今回は、平成21年3月4日に開催された平成20年度第3回交流会(通算29回目)の概要をご紹介します。

(主催:京都府中小企業技術センター、財団法人京都産業21、社団法人京都経営・技術研究会、けいはんな新産業創出・交流センター)

## 〈株式会社イオンテクノセンター見学〉

### ◇ イオンテクノセンターの紹介(浅利 正敏 取締役)

イオンテクノセンターは、関西文化学術研究都市の拠点として整備された「津田サイエンスヒルズ」に立地しています。イオン工学に特化した技術と設備で、イオン注入・成膜・分析といった事業を中心に企業や大学研究者をサポートする研究開発機関です。

当センターの主力事業であるイオン注入や成膜等は、原子が電子のバランスを崩し、電氣的に(+)又は(-)に帯電した状態であるイオンが、電場や磁場の影響に対し規則的に定まった反応をする性質を利用して制御し、真空中を高速で飛行するドライイオンを活用して行っています。

当センターでは、10keV～8MeVまでの多彩なイオン注入装置を完備し、65種類のイオン注入が可能で、多様なニーズにも応えることができます。特に最近、自動車業界や電機業界の需要が増加している高温イオン注入技術は、Si(シリコン)に比べ、高効率、冷却の簡易化等が図れるSiC(シリコンカーバイド)等の化合物半導体に適しており、パワーエレクトロニクスや環境エネルギー分野への新たな展開が期待されています。

イオン注入や薄膜成形では、センターの設備を活用して結果についても分析し、不具合があったとしても他の方法の提案までサポートしています。さらには、受託研究や共同開発も幅広く行っておりますので、研究開発のパートナーとして、当センターを気軽に利用してください。



### 【株式会社イオンテクノセンター】

〒573-0128 大阪府枚方市津田山手2丁目8-1  
TEL 072-859-6611 URL <http://www.iontc.co.jp>

### ◇ クリーンルーム等見学

クリーンルームに設置されている代表的な装置を見学しました。

#### ・中電流イオン注入装置

B(ホウ素)、P(リン)、N(窒素)、C(炭素)だけでなくAl(アルミニウム)、F(フッ素)、Si(ケイ素)などの元素イオンが注入でき、数100nm深さの高密度不純物層形成が可能です。また、粉粒体注入にも対応できます。

#### ・表面解析装置

SIMS(二次イオン質量分析)、ESCA(X線光電子分光分析)、RAMAN(ラマン分光分析)、RBS(ラザフォード後方散乱分析)等の装置が揃っています。マイクロ・ナノレベルの表面分析におけるノウハウの蓄積があり、信頼性の高いデータを短期間で提供することができます。

## 〈参加企業によるプレゼンテーション〉

見学会への参加企業次の3社(京都試作センター)による自社技術の紹介プレゼンテーションを行いました。

京都試作センター株式会社…………… 京都試作センター株式会社の事業紹介

有限会社ミネルバライトラボ…………… マイクロ波式有機化学反応実験装置(グリーン・モチーフ・I b)の紹介

有限会社イーダブルシステム…………… 接触した位置とその押圧を同時に検知する圧力位置センサー(EWセンサー)の紹介

けいはんな技術交流会は、平成21年度も開催予定です。ぜひ、府内企業の皆様のご参加をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202  
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp